たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事件名
令和元年度
国補　河川災害復旧助成工事
（一年災）
工事場所
長野県　佐久市
石神　滑津川
発注者
長野県佐久建設事務所
請負者
株式会社　木下組
工事内容
滑津川　左岸側　築堤盛土
回転式破砕混合工法
（ＴＭ一五〇五）
改良土製造量
Ｎ＝二〇〇〇〇〇㎥
（地山土量）
二材一添加
（生石灰（三六kg／㎥乾燥土量）
対象土質
礫質土　混合割合：六
（単位体積重量（乾燥））
ｑｄ＝一・九四ｇ／㎤
粘性土
混合割合：四
（単位体積重量（乾燥））
ｑｄ＝一・〇〇ｇ／㎥

令和元年一〇月一二日本州に上陸した台風十九号により、長野県佐久地域は記録的な豪雨に見舞われました。今回の現場はその時に決壊した堤防の復旧に携わった工事であります。

滑津川では左岸の堤防が約三二〇ｍにわたり決壊。二〇㌶越の農地が水没、ここ杉ノ木地区では二三戸が床上・床下浸水しました。さらに佐久市内の河川は極めて短時間で増水した為、複数箇所で氾濫が発生し流域に甚大な被害をもたらしました。

市内に活断層が確認されていない、大規模な水害が少ない等「災害の少ない街」を標榜としてきた佐久市にとって、この記録的な災害は今後の街造りの方向性を問われる機会ともなりました。また、この経験により災害はいつでもどこでも起こりうるものであると再認識させられました。

建設で拓く豊かな都市づくりの礎として、暮らしやすさという卓越性を未来に継続していく為には、被害発生要因を明らかにし、それを丁寧に除去しながら次の災害に備え、より強靭な都市づくりを行っていく、ビルド・バック・ベター（ＢＢＢ）の取組が大切だと認識しました。災害前の状態に戻すだけの原形復旧でなく、災害を繰り返さない改良復旧・機能強化を目的とし当工法を採用していただきました。

改良土製造当初、粘性土に玉石が混入しておりそのまま粘性土供給機に投入すると原土を切削する二軸パドルに噛込み、過負荷による粘土供給機の停止や、原土の粘性土が二軸で細かく切削出来ず土塊のままベルコンに落ちて、土砂搬送時に礫質土が合流する箇所で閉塞しプラント全体が止まってしまう等、一向に製造が進みませんでした。

粘性土内の玉石への対処は供給機への原土投入バックホウとは別にもう一台バックホウを搬入しバケットに除去しやすいよう熊の手状に鋼材を加工して玉石を除去しました。粘性土の土塊は二軸に付いているパドル羽長を九〇㎜から一五〇㎜に伸ばし更に二軸からベルコンに落ちる間に土塊を切削する二分のワイヤーを取り付けました。また、ツイスター本体の撹拌回転速度を四〇〇rpmにしインパクトチェーンの配置も上段四本、中段四本、下段四本から上段八本、中段四本、下段四本にすることで最終的な改良土の土塊を握り拳程度にできました。

製造した改良土への要求品質項目としては、
①望まれる粒土曲線範囲内にある事（15%≦Fc≦50%）
②コーン指数qc＝一二〇〇ｋｎ／㎡以上である事

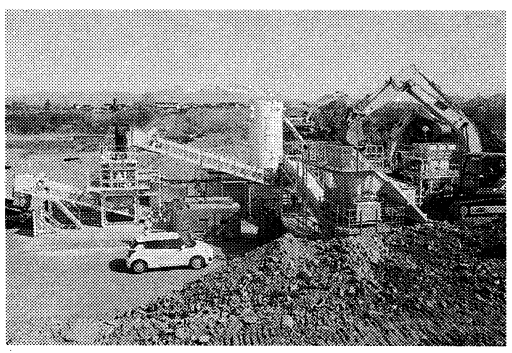
現場での試験結果から細粒分含有率が二〇％で範囲内に収まり、またコーン指数も二〇〇〇ｋｎ／㎡でありました。

発注者である佐久建設事務所飯島技師並びに元請業者の（株）木下組　重田所長から、「バックホウ混合工法では土量管理において正確な数字がつかめず誤差が発生するが、当工法なら正確な数字が計量でき管理できる。バックホウ混合工法では、この粘性土をここまで良質な改良土に撹拌できない。」と好評をいただきました。

施工中は粘性土内の玉石除去、土塊の細分化、本体機のトラブル（インパクトチェーンの交換・本体ドラム回転故障・玉石での機材劣化）等いろいろ問題は有りましたが、迅速な対処で御尽力頂き、また御指導頂きました協力業者様、問題に対し御理解と発注者様への明確な対応とアドバイスをしていただいた（株）木下組　重田所長様。皆様のおかげで無事故・無災害にて作業完了できました。

右岸工区（改良土製造量Ｎ＝三六〇〇〇㎥）も工法指定にて発注され施工予定ですが、これまで学んだ事を生かし良品質・無事故・無災害で施工に臨みます。

長野支店　工事部
課長　碓田　美洋



声援

本年も、はや半年が過ぎようとしており、折り返し地点の頃となりました。私は、太洋基礎工業本社がある名古屋市中川区で生まれ育ちました。平成八年に入社し二五年間名古屋支店工事部にて勤務してまいりました。

この度、東京支店勤務となり着任し一ヶ月半程経ちました。昨年からつづく新型コロナウイルス感染による三回目の緊急事態宣言が四月二五日に発令され、着任挨拶もできておりません。まだ、数多くのお客様へお伺いできなく心苦しく思っています。

弊社創業祭を昨年、東京支店主催で開催を予定しておりましたが、コロナ禍により中止となりました。今年こそは創業六三周年創業祭を行うよう準備してまいりましたが、社会情勢を鑑みて開催を秋頃に延期を決定いたしました。当面の目標である売上一五〇億円、成熟企業を目指すうえで毎年迎える創業祭は重要な通過点行事であります。目標があるからこそ計画・行動し成果が得られます。幾度と発令される緊急事態宣言、期間も幾度と延長され、「緊急事態」の意味が浅薄な言葉となっています。ワクチン接種も医療従事者・高齢者から始まりましたが、国民全員に接種し終わるか不透明であり、コロナ禍の終息に向かう時期が見えていません。先が見えない目標・行動では、私たちの生活にも大きな影響を受けてしまいます。業務においても同じことが言えるのではないでしょうか。

一つのものを創り上げるには、目的がありそれに沿った計画をたて実行し完成させるといった一連の行動です。どれも曖昧であってはいけないものができないばかりか、それに携わった人との信頼関係も築けません。六三周年記念誌にも記しましたが、何をするにあたっても「信用」「信頼」が得られる行動をするよう心がけたいものです。

他業種に比べ堅調である建設業界にもさまざまな影響をもたらしていますが、首都圏においてはリニア新幹線の本体工事や関連する道路整備、まちづくりに向けた建設投資。また、老朽化したインフラの維持管理や自然災害に対する防災・減災対策、国土強靭化に対する政府の建設投資は、今後もつづくといわれています。このように、建設業には我々の生活や各産業の基盤をつくり、災害防止を事前に図り安全・安心を支え、経済成長・雇用確保に貢献する必要があります。建設業就業者の高年齢化が他産業と比べ進行しており、若年層の雇用・定着、技能の伝承が必要となっています。その原因の一つには、未だに根強く建設業の「３Ｋ（きつい・汚い・危険）」のイメージをもたれています。若者に物を創り上げる喜び・魅力的な職場とするためには、労働環境を改善して３Ｋのイメージを払拭することが不可欠であり建設業全体で取り組む必要があります。

六月は、七月一日から七日までの安全週間準備月間です。本年のスローガンは「持続可能な安全管理　未来へつなぐ安全職場」です。持続（継続）する安全管理は、労働災害防止対策・安全衛生活動が重要です。昭和三年に実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、労働災害防止活動を推進させ、安全意識・活動を定着させるべく続けられてきました。今後も続け、若年層が安心して魅力ある建設業になることを願います。

最後となりますが、新天地にて勇往邁進していきますのでご指導・ご鞭撻の程宜しくお願いします。

東京支店　執行役員
支店長　前田　哲良

共生共遊

梅雨入り宣言をしたものの、これと言った雨も降らず、六月に植樹した桜三本、水不足で活着するのか気をもんでいます。やはり六月は雨　きっとアジサイも雨を恋しがっていると思えてなりません。

明るいニュースの少ない中、海の向こうアメリカ大リーガー大谷翔平選手の大活躍。目を見張るばかりです。そもそも二刀流、野球の世界最高水準大リーガーで通用するのか半信半疑でしたが、見事としか言いようがありません。日本のファンに限らずテレビ放映を見ていてもアメリカの子供達が日章旗を振り大谷声援を送っています。きっと子供達に大きな夢を与えているに違いありません。

この二六日（土）研究開発室の中間発表会があると聞いています。発足して四ヶ月、今のところ活動が見えていない現状にやきもきしています。次の一〇〇年を荷負う選ばれしメンバー、太洋の大谷になれと発表会が待ち遠しいです。

六月一二日、ロンドンＧ７にて菅総理、力強く東京オリパラ開催の実施に全力尽くす先進各国の協力を要請しました。中止とか延期とか開催の是非が取り沙汰されていましたが、これで決まり退路を断った思いです。一億二千万人一人ひとり多様な意見がありますが、決める時はエイヤーと決めるのも政治の決断。指導者の使命。

四月に新体制として発足しました太洋の経営陣も重い決断をしなくてはならない事もあるでしょう。経営は使命感、責任感、技術立社の太洋、研究開発室の選ばれしメンバー、技術を進めるべき時は進める。技術の伝承、使命感、後継への希望の灯りとなる。太洋の二刀流期待したい。

顧問　豊住　満

新入社員紹介

皆様初めまして。この度、大阪支店四国営業所に配属となりました坂本夏葵と申します。

新しい仲間に出会える期待とうまくやっていけるだろうかという不安がある中、四月一日に入社式が行われました。入社式で加藤社長から辞令をいただいた時に社会人としての自分がスタートしました。社会人としての自覚を持つとともに、学生であった自分がもういないことが寂しく感じられました。

一日目加藤社長をはじめ講師の方から会社概要、技術、安全、ビジネスマナーなどの講話をしていただきました。

二日目は神守研究開発センターや現場で見学を行い、最後に安全運転の講話をしていただきました。実体験や映像をはさんだ講和はとても印象に残っています。特に安全運転の講話で見た事故映像は強烈でした。事故を起こすことがどれだけ迷惑をかけてしまうかを改めて実感しました。

これから覚えることが増えていくのでメモをどんどんとっていきます。ご迷惑をお掛けすることも多くなりますが一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

大阪支店　四国営業所
坂本　夏葵

皆様初めまして。この度、九州支店工事部に配属となりました。

不安と緊張がある中、四月一日に入社させていただきました。加藤社長から辞令をいただいた時、ようやく社会人生活が始まる喜びと不安を感じました。

研修一日目に会社概要や社史等の講話を加藤社長からいただいて、これから私も太洋基礎工業の従業員の一人、そして家族として頑張っていこうと言う気持ちになりました。

技術講話を六鹿営業本部長からお話いただきました。色々な工法や技術を説明していただきましたが、知らないことだらけで覚えることがたくさんあると感じました。早く仕事ができるようにこれから一つずつ覚えていき、チャレンジ精神を持って業務に励みたいです。私は専門学校で建築設計を学びました。土木に関しては素人同然ではありますが、学生時代に学んだことを生かしていきたいです。慣れるまで色々な問題にぶつかると思いますが、自分の成長や会社貢献のために、壁を乗り越えて、一つずつ進もうと思っています。

二日目は神守研究開発センターに行き、豊住顧問から貴重なお話をいただきました。その後の土屋センター長からは機械や工法、海外事業の事を紹介していただきました。

今までの学生生活とは一八〇度変わり、不安と緊張でいっぱいです。社会人となった今、お金をもらう立場となりましたので会社にとって良い人材となり、早く会社へ貢献したいと思っています。分からないこと、失敗をして迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、皆様のお力になれるよう、精一杯頑張っていきますのでご指導をお願いします。これからよろしくお願いします。

九州支店　工事部
ルウ　ズイナム

特別研修会を開催

「ザイペックス工法」

五月二六日に本社会議室において研究開発室修復チーム主催の研修会が開催されました。その中で三十分ほどの短い時間ではありましたが、ザイペックス工法の説明をさせて頂きました。

出席者は名古屋支店の社員が一〇名と各支店からリモートで三七名の計四七名となりました。

私がザイペックスのトレーナーの資格を取ったのは平成一二年。二十年も前ではありますが、本格的にザイペックスの担当となったのはここ十年です。

それ以降ザイペックスの仕事をするようになりましたが、社内には施工経験者が殆どいない為、協会や同業者から情報を聞いたりして現場を経験してきました。現在、私は名古屋支店の環境部に在籍していますが、他部署や他支店ではザイペックスのことを知る人があまりいません。そのため営業活動から施工までほとんど一人でやってきました。

今回の研修では、短い時間の中で「ザイペックスとは何か」から始まり、メカニズム、施工方法、施工例までを簡単に説明した他、他工法との比較、施工金額の比較等を含め、ザイペックスの利点が少しでも参加者に伝わればという思いで説明してきました。

普段の仕事は殆どが土の中のことなので、全く性質の違う工事となります。しかし、同業他社も多くない為、これからの太洋基礎工業の営業品目の一つとして、伸ばしていける工法だと確信しています。

是非多くの社員がこの工法に積極的に取り組んでくれることを願っています。

また、ご意見ご質問があれば遠慮なくお問い合わせ下さい。

名古屋支店　環境部
副部長　**由谷　武**

地盤改良展へ出展します

七月一四日から一六日の三日間にかけて「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2021」が開催されます。九つの専門展示会が行われますが、そのうちの一つである地盤改良・液状化等に対応する技術・工法・サービスに関する専門展示会「地盤改良展」に当社が出展します。

会場は大阪市住之江区にありますインテックス大阪の六号館A-スペースU一九になります。

出展内容は、お得意様と共同開発を行ったハイグリップグラウト工法やSATコラム工法、自社開発を行った浅深四軸工法をはじめ各種営業工種をご紹介させていただきます。当社の地盤改良技術は国土強靭化計画に必ず役立てると思っております。

当社スペース以外でも製品やサービスの導入を考える質の高い方々が多数来場される場ですので、是非お越しください。

※来場には事前登録が必要です。

「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2021」のホームページよりご確認ください。

大阪支店　取締役支店長
岡田　浩

お知らせ

この度、令和三年五月二五日をもって名古屋支店福井営業所は、移転の運びとなりましたのでお知らせいたします。

新所在地
〒九一〇―三一〇四
福井県福井市布施田町八―四五
電話番号
〇七七六―八三―一八二二
FAX
〇七七六―八三―一七八四
（電話、FAX番号は変更ありません）

今後ともよろしくお願いいたします。

お願い

皆様のお知り合いの方で住宅新築およびリフォームと新車購入、太陽光発電システム設置の予定のある方をご紹介ください。（本人でも可です）

紹介者には謝礼を進呈します。連絡先は、本社総務部までお願いいたします。

ひとり言

GWを利用して五月四日（火）～一〇日（月）の一週間、体調取り戻し湯治。岩手県八幡平へ愛車クラウンを運転して九〇〇キロ、往復一、八〇〇キロ若葉青葉の道中路を楽しんでまいりました。

若い頃、いつかはクラウンのコマーシャルに刺激されて早くクラウンに乗れるようになりたいと私にとって麻薬のような思いの働く原動力になっていました。以降、念願叶い五〇年以上クラウンのオールドファンとなってきましたが、車走中ふとメーカーのクラウン製造打ち切りの発表を思い出し、そうか次のクラウンの新車には乗れないのか、一抹の寂しさを憶えながら。

メーカーにとって看板車種であり、会社を支えてきた車種であったはず。製造打ち切りの決断はきっと重かったであろうと推測しながら世の中は車に限らずどんどん変わっていく。変化に対応できない企業に未来はないのは鉄則。愛する太洋も同じであろう。幸い創業以来、変化を恐れず同業他社に比べれば常に時流を見通し時流に乗り遅れず経営を続けてきました。看板営業工種でも主力営業工種であっても恐れず転換をしていかなくてはと思います。四月の株主総会に於いて役付取締役含め二名の取締役退任、新進気鋭働き盛りの執行役員五名の誕生、組織は確実に若返り致しました。任に就いた方には変化を恐れず前に進んでいって頂きたい。・・・前途は遠い。そして暗い。しかし恐れてはならぬ。恐れない者の前に道は開ける。・・・小説家有島武郎の言葉です。要約すれば、よい場所につながる道は暗くて険しい。しかし進むうちに目も慣れてきて歩くスピードも上がる。前途の険しさに足踏みせず勇気を出して最初の一歩を踏み出しましょうと新リーダーへ激励文を贈ります。

顧問　**豊住　満**

共済会だより

☆ご出産おめでとうございます

四月一三日
翠　大介
東京支店　開発部
亜須斗（あすと）君　次男

五月二八日
桑原　大輔
名古屋支店　環境部
紬（つむぎ）ちゃん　次女

☆ご結婚おめでとうございます

五月一一日
前長　宏樹
大阪支店　開発部